

## 日程

- ① 2025年 5月27日(火)～ 29日(木)
- ② 2025年 6月25日(水)～ 27日(金)
- ③ 2025年 7月23日(水)～ 25日(金)
- ④ 2025年 8月26日(火)～ 28日(木)
- ⑤ 2025年 9月24日(水)～ 26日(金)
- ⑥ 2025年10月15日(水)～ 17日(金)
- ⑦ 2025年11月26日(水)～ 28日(金)

全21日  
(3日×7回)

## 会場

中小企業大学校九州校  
(福岡県福岡市博多区綱場町2-1 博多FDビジネスセンター)

## 受講料

225,000円(税込)

## 定員

20名

## 自立した発想と行動力を身に付ける！

企業が厳しい経営環境に柔軟に対応しながら発展し続けるためには、組織の要となる経営者が会社全体を横断的に見渡すリーダーとして自立した発想と行動力を身につけ、ビジョンを実現する経営戦略とさまざまな管理手法を効果的に実践することが求められます。

本研修では、革新のキーパーソン＝次世代経営者が習得しておくべき経営戦略とマネジメントの視点や手法を理解し、自社の革新的な未来像や戦略・プランを構築・実践していくための手順やポイントについて体系的に学びます。



## 研修の特色

- ①次世代経営者として必要なスキルなどを体系的に学ぶことができ、発想や行動力が身に付くカリキュラム構成です。
- ②学んだ内容を自社で実践し、振り返ることができるインターバル期間を設定しています。
- ③実践力を養うための、演習、グループディスカッション、ケーススタディ等受講者参加型の多様なプログラムを用意しています。
- ④ゼミナールでは、担当講師によるきめ細かな指導のもと、自社の経営計画等の策定に取り組むことで、経営戦略等の立案能力が身に付きます。
- ⑤他社との意見交換や交流を通じて、幅広い見識の習得や人的なネットワーク形成が可能です。

## カリキュラム構成

## 経営管理者としての能力の向上

- ◆経営管理者の役割と能力
- ◆DX推進
- ◆先進事例の研究
- ◆部下指導 他

## 経営マネジメント手法実践法の習得

- ◆経営戦略・経営計画
- ◆人材マネジメント
- ◆財務分析・経営体質強化
- ◆マーケティング 他

## ゼミナール(自社課題の解決)

- 1.自社の現状分析
- 2.課題の抽出
- 3.改善策の検討
- 4.プランの作成
- 5.発表会

受講生間で情報交換人的ネットワーク形成

次世代経営者へ！

## 講師紹介(ゼミナール担当)

清永 誠(きよなが まこと)  
株式会社ヒューマンリソース・デベロップメント 代表取締役社長

1985年、三井ハイテック(北九州市)に入社し、ICリードフレームの製造、品質管理などを行う。その後、人材派遣の営業などを経て、地元オーナー企業(製造系中小企業)に入社し、営業実務、生産管理などを経験。1995年、多角経営に失敗し、倒産の危機にあった同社を再建。中長期経営計画立案と実践(人づくり・やる気づくり・生産管理と品質管理強化・技術開発等)、自動車産業への参入を果たし、オーナー家へ事業承継。2015年6月、『至誠塾』を立ち上げ、地元の中小企業経営者を対象に高い志を持つ、「人」中心の経営を指導。同年10月より現職。早稲田大学大学院情報生産システム研究科修士(工学)。



青木 道生(あおき みちお)  
アジア太平洋マネジメント 代表

立命館アジア太平洋大学卒。地方銀行を経て独立。専門は、「銀行融資」に焦点を当てた中小零細企業・ベンチャー企業向けの経営コンサルティング、財務、経営企画書の立案、策定。銀行融資の基準やポイント等の要素を知り、融資案件全体の「組立」にも精通。中小零細企業・ベンチャー企業と金融機関との架け橋として活躍中。



永易 大樹(ながやす ひろき)  
ながやす労務経営 代表

特定社会保険労務士/中小企業診断士/修士(経営学)  
福岡県出身。国内化学メーカーに20年以上勤務し、化学品の輸出入、グループ会社の会計及び総務を担当し、採用・労務管理を始め、会社運営に関わる管理業務全般を経験。在職中、通関士(有資格)、社会保険労務士、中小企業診断士を取得。郷里の福岡に戻り、個人事務所を開業。地元及び東京の企業に人事労務コンサルティングを行っている。



園田 恭久(そのだ やすひさ)  
有限会社園田経営リスク研究所 代表取締役

中小企業診断士、認定事業再生士(CTP)、経営学修士。  
陸上自衛隊通信科部隊(通信機器整備)、企業勤務(情報通信関連営業所長等)を経験。のちに、同僚と情報通信関連企業を起業し、同社を売上10億円・従業員30人規模に育てる。14年に亘る企業経営実務を経験。その後同企業を同僚役員に事業承継し、2005年有限会社園田経営リスク研究所を設立。代表取締役就任。中小企業支援に従事。現在に至る。専門分野は、BCP(事業継続計画)作成支援、事業承継支援、後継者育成支援、知的資産経営手法による事業計画策定支援など。中小機構九州本部中小企業アドバイザー、中小企業大学校人吉校・九州校・広島校、商工団体、金融機関、国・自治体等が実施する研修の講師を務めている。



# カリキュラム概要

## 第1回

### 経営管理者の役割

5月27日(火)～29日(木)

1. 経営者に求められる役割と能力  
企業経営に必要な視点と考え方 他
2. 先進的な企業の事例研究  
経営者が持つべき視点と発想 他
3. 経営戦略の立て方と進め方  
企業理念と経営戦略 他

## 第2回

### 財務会計と財務分析

6月25日(水)～27日(金)

1. 財務分析と経営体質の強化  
・決算書の読み方と財務分析の進め方  
・利益計画と資金調達計画の立て方  
・財務分析の実際(演習)ケーススタディ 他
2. ゼミナールオリエンテーション

## 第3回

### 企業経営のしくみ

7月23日(水)～25日(金)

1. 戦略マネジメントゲーム  
・企業経営の基礎知識  
・計数感覚の養成  
・模擬経営を通して学ぶ業績の向上策 他
2. ゼミナール ①  
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討

## 第4回

### マーケティングと営業活動

8月26日(火)～28日(木)

1. マーケティングと営業活動の進め方  
・マーケティング戦略の構築  
・新規顧客獲得、既存顧客との関係維持強化  
・営業活動の標準化 他
2. 中小機構の実施する支援施策の活用の仕方
3. ゼミナール ②  
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討

## 第5回

### 人材マネジメントと組織

9月24日(水)～26日(金)

1. 人材マネジメントと組織  
・労働法に関する基礎知識  
・主体性が高まる組織づくりの進め方  
・人材育成計画の立て方 他
2. ゼミナール ③  
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討

## 第6回

### デジタル化とイノベーション

10月15日(水)～17日(金)

1. デジタル化とイノベーション  
・中小企業のデジタル化、DX化の現状と課題  
・ITツール体験、事例研究 他
2. ゼミナール ④  
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討

## 第7回

### 人事制度、部下指導・定着化

11月26日(水)～28日(金)

1. やる気を引き出す人事制度  
～社員を定着化させるしくみづくり～  
部下とのコミュニケーション 他
2. ゼミナール⑤  
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討
3. 研究課題発表会

## 受講者の声(九州校 第1期)



株式会社KITSライン  
本部長 前田 博 さん

### ◆受講動機

近い将来の自身の社長就任が決まっており、今後会社をどのように成長させていくのか、悩んでいたタイミングでもありました。日々忙しい中で経営目標を達成していくための社内の体制をどう構築していくべきか、どう計数管理していくか等々、課題感を持っていたため、受講を決めました。

### ◆実際に受講した感想

まさに自分が経営者として必要していた「財務」について、ゼミを通じて深く学べたことがとても身になりました。経営幹部として、自社の経営改革を進める上で、数字的な裏付けの重要性を痛感していたが、今回のゼミを通じてその重要性を再認識できました。

様々な関係者を巻き込んで、タフな交渉を進める上でも客観的事実として数字的な裏付けを示しながら、自信を持って、今回の学びを実践していきたいと思っています。

ゼミの課題は、量の多さに面食らった場面もありましたが、粘り強く課題に取り組む中で、財務分析の仕方、そこから自社の状況を紐解き、現状の課題を抽出するための着眼点がわかるようになりました。今後、計数管理を進めていく勘所もつかむことができたため、とても有意義に感じています。

また、ゼミでは周りの受講生(異業種)が自社とは異なる状況で、どのように課題解決の道筋をつけていくか間で聞くことができたことも、とても勉強になりました。

### ◆受講推薦の言葉

現在、社長の方や今後社長になることが決まっている方は、周りの受講者からの刺激を受けることができるため、なるべく早く受講することをお勧めします。また、自社の従業員にも受講を勧めたいと思います。